

京都市民スポーツ振興計画における数値目標と実績等について

1 数値目標

令和4年3月の計画延長の際、次の3つの数値目標については、計画策定時からいずれも実績値は上昇したものの、コロナまん延前（令和2年2月）時点でも目標値には届かず、コロナ禍（令和2年3月以降）では、その影響を大きく受け、全ての実績値が低下したことから、数値目標については計画延長の最終年度である令和8年度まで据え置くこととした。

2 調査の数値について

計画改定に基づくアンケート調査と、計画改定に基づく調査を行わない年度は京都マラソンに併せて実施するアンケート調査（いずれも18歳以上の市民3,000人を無作為抽出）により数値を把握している。（令和3・4年は京都マラソンがオンライン開催のため、アンケート調査を実施していない。）

※ コロナまん延前：R2（2020）2月 ／コロナ禍：R2（2020）3月以降

(1) するスポーツ「週1回以上運動やスポーツをする市民の割合」

目標値：令和8年度 65%以上

	H22 (2010) (計画策定時)	H27 (2015) (計画改定時)	R2 (2020) (計画延長時)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
計画	48.4%	53.2%	コロナまん延前 63.4% コロナ禍 58.1%	—	—	—	—	—	67.2%
マラソン	—	—	45.6%	—	—	60.0%	60.7%	58.4%	51.2%

(2) みるスポーツ「市内で直接スポーツを観戦した市民の割合」

目標値：令和8年度 50%以上

	H22 (2010) (計画策定時)	H27 (2015) (計画改定時)	R2 (2020) (計画延長時)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
計画	24.4%	38.2%	コロナまん延前 27.8% コロナ禍 7.5%	—	—	—	—	—	30.9%
マラソン	—	—	30.8%	—	—	23.4%	27.8%	33.2%	24.2%

(3) 支えるスポーツ「スポーツ活動にボランティアとして参加した市民の割合」

目標値：令和8年度 10%以上

	H22 (2010) (計画策定時)	H27 (2015) (計画改定時)	R2 (2020) (計画延長時)	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)	R8 (2026)
計画	3.1%	4.4%	コロナまん延前 7.7% コロナ禍 2.3%	—	—	—	—	—	5.9%
マラソン	—	—	4.6%	—	—	5.2%	4.6%	6.0%	2.4%

(参考) スポーツ庁「スポーツの実施状況等に関する世論調査」(令和3年～)と京都府「京都府民のスポーツに関する実態調査」(令和4年 ※5年ごと)

*調査方法

国: 20歳以上・約220万人に有効回収数が40,000人になるまでWEBアンケート調査

府: 18歳以上3,000人に調査(有効回答数1,087人)

<する>

	R3	R4	R5	R6	R7
国(週1回以上)	56.4%	52.3%	52.0%	52.5%	51.7%
府(週1回以上)	—	67.4%	—	—	—

*国の定義:「この1年間に運動やスポーツを実施した日数」で週1日以上と回答した者の割合

*府の定義:この1年間で「運動した」人のうち、「運動・スポーツをした」日数が週1以上と回答した人の割合

<みる>

	R3	R4	R5	R6	R7
国(現地、テレビ等)	65.7% (五輪観戦)	現地23.3% テレビ等72.8%	68.7%	68.5%	65.4%
府(現地、テレビ等)	—	83.0%	—	—	—

*国の定義:「直接現地」または「テレビやインターネット」のいずれかを観戦した者の割合、

R4は「現地」「テレビ・インターネット」を分けて調査、

R3は東京五輪の観戦有無とそれ以外の競技観戦の調査。

*府の定義:五輪を除き、観戦方法を問わずスポーツを観戦した人の割合

<支える>

	R3	R4	R5	R6	R7
国	8.2%	9.9%	9.9%	9.7%	9.0%
府	—	12.0%	—	—	—

*国の定義:「運動・スポーツをささえる活動」で「行っていない」と「わからない」を除いた割合

*府の定義:「スポーツの指導やスポーツ大会の運営、自身やお子さんが所属するスポーツクラブの手伝い(送迎や弁当の準備等)」を実施した人の割合

<出典>

・スポーツ庁(2026)令和7年度「スポーツの実施状況等に関する世論調査」報道発表資料

https://www.mext.go.jp/sports/b_menu/toukei/chousa04/sports/1402342.htm

(令和8年6月8日時点)

・京都府(2023)令和4年度京都府民のスポーツに関する実態調査

<https://www.kyoto-be.ne.jp/hotai/cms/?p=127> (令和8年6月8日時点)

3 市民生活実感評価

令和4年3月の計画延長時から、上記の数値目標に加え、毎年度、本市の政策評価制度における市民生活実感評価により、市民にどう実感されているかを確認しながら、より良い評価を目指すこととした。

指標	R3 (2021)	R4 (2022)	R5 (2023)	R6 (2024)	R7 (2025)
市民がスポーツを楽しみ、健康で心豊かに暮らしている	c	c	c	c	c
市民がスポーツを楽しんだり、スポーツを支える活動を通じて、様々な人と人とがつながっている。	c	c	c	c	c
市民がスポーツに身近に触れる機会があり、スポーツがまちの魅力を高めている	d	c	c	c	c

評価 大変良い状況にある (a)、やや良い状況にある (b)、
どちらとも言えない (c)、やや悪い状況にある (d)、
大変悪い状況にある (e)